

はんちゅーナーズ便り

発行人
看護部長室

Vol.32

透析室 陣内主任が 奈良県看護連盟会長賞を受賞しました。

本賞は、長年にわたり看護の発展や看護連盟活動に貢献し、その功績が認められた方に贈られる大変名誉ある賞です。

日頃から患者さまに寄り添う看護の実践はもとより、後進の育成や組織活動への積極的な取り組みが高く評価され、このたびの受賞となりました。

2026 年度 奈良県看護連盟通常総会



理事長から認定書を
授与されました



おむつマイスター取得のご報告

このたび、当院職員が「おむつマイスター」の認定資格を取得いたしました。

おむつマイスターは、排泄ケアに関する専門的な知識と技術を習得し、適切なおむつの選択・装着方法を実践・指導できることが認定された資格です。認定には講義・実技・筆記試験などが行われ、一定の知識・技術を修得した者が認定されます。

今後は、おむつマイスター認定者を中心に、

- ・患者さま一人ひとりに適した排泄ケアの実践
- ・おむつ装着技術の標準化
- ・スキントラブルや褥瘡予防への取り組み
- ・職員への技術指導・教育
- ・患者さまの快適性と尊厳を大切にした排泄ケアの推進

に努め、より質の高い看護・介護の提供につなげていきたいです。

次回は、
秋の開催を予定しています。



看護部長のひとりごと

排泄ケアへの思い

排泄は、人が生きるうえで欠かすことのできない基本的な生活行為であり、その方の尊厳や自立、そして「その人らしく生きること」を支える大切なケアです。

私は、単に排泄を介助するだけではなく、一人ひとりの生活習慣や身体機能、価値観を見守り、その方ができる限り自分らしく排泄できる環境を整えることが重要な役割であると考えています。

適切な排泄ケアは、皮膚トラブルや感染症、転倒、便秘・尿閉などの予防だけでなく、患者さまの安心感や自己尊厳の保持、QOLの向上にも大きくつながります。だからこそ「おむつを当てるケア」ではなく、「排泄を支えるケア」を実践していきたいです。患者さまの「できる」を大切に、尊厳を守り、その人らしい生活を支える看護を実践していきたいです。排泄ケアは、目立つケアではありませんが、患者さまの笑顔や安心につながる、看護の本質を表す重要な実践であると思います。